京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●暴徒被害状況

（全羅南道四月中に於ける）

全羅南道に於ける本年一月二月三月の暴徒被害高は過日の新聞紙上に掲載せしが今爰に四月中に於ける被害高を知るを得たれば左に掲ぐべし

▲財産に關する損害

郡	出没度数	集合民家来襲度数	金銭 日人	金銭 韓人	物品 日人	物品 韓人	建物 日人	建物 韓人	飲食物 韓人
霊光	八	四	—	—	—	—	—	—	四
務安	五	八	—	八〇	—	一二四	—	—	六
寶城	五	五	—	三〇〇	—	三一〇	—	—	三
咸平	五	四	—	—	—	四一	—	—	一
康津	—	二	三六	三八	一〇	—	—	—	—
羅州	四	三	—	—	—	—	—	—	—
長興	六	五	—	四五	—	二	—	—	一〇四
光州	四	五	—	一五七	—	四〇〇	—	二〇〇	—
霊岩	二	一	—	—	—	—	—	—	—
同福	一	四	—	三三	—	—	—	—	三
海南	一	一	—	—	—	四	—	—	—
莞島	二	五	—	一六	—	—	—	—	—
長城	四	二	—	七六	—	四五	—	—	—
求禮	一	二	—	—	—	—	—	—	—
昌平	二	一	—	一〇	—	—	—	—	—
珍島	—	一	—	—	—	—	—	—	—
興陽	一	二	—	五三	—	—	—	—	二
突山	—	一	一五〇	八〇	一〇〇	—	—	—	—
順天	四	二	—	三七	—	二	—	—	—
潭陽	二	三	—	—	—	六〇	—	—	—
谷城	一	—	—	—	—	—	—	—	—
和順	一	二	—	—	—	—	—	—	—
智島	—	一	—	—	—	—	一〇〇	—	—
高敞	一	—	—	—	—	—	—	—	—
綾州	一	—	—	—	—	—	—	—	—
光陽	—	一	—	—	—	—	—	—	—
計	六二	六三	一八六	九四二	一一〇	九二二	一〇〇	二〇〇	一四一

▲身体に關する損害

郡	死 日男	死 韓男	傷 日男	傷 日女	傷 韓男	殴打 韓男	拉去 韓男	拉去 韓女	放火度数 日	放火度数 韓	放火軒数 日	放火軒数 韓
霊光	—	五	一	—	—	二	—	—	—	—	—	—
務安	一	一	—	一	一	五	—	二	—	—	—	—
寶城	二	一	一	—	—	一	—	四	—	—	—	—
咸平	—	—	—	—	一	—	—	二	—	—	—	—
康津	三	二	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—
羅州	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—	—	—
長興	—	五	—	—	一	一	—	—	—	—	—	—
光州	—	—	—	—	—	二	二	一	—	二	—	二
霊岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同福	—	—	—	—	—	一	二	—	—	—	—	—
海南	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—
莞島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長城	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
求禮	—	一	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—
昌平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
珍島	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—
興陽	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—
突山	一	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—
順天	二	—	二	一	—	一	二	—	—	—	—	—
潭陽	—	—	—	—	—	二	一	—	—	—	—	—
谷城	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
和順	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—
智島	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	二
高敞	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
綾州	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
光陽	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—
計	九	一四	五	三	三	一九	一〇	一三	—	二	—	二

文苑

●慕●　柴月

獨り住む閨の燈火の影暗く淋しき儘に窓押開けば降りしきる雨の扉際に途切く〳〵につたへ來る笛……耳を打つ音はそもや奈何なる君のすさびにや何れにつけても思ひ出多きゆかしの君嘆今頃は如何に世を渡らせ給ひてか懐かしとよべど叫べど君の御聲のそれならで答ふるものはたゞ降まさる雨につれ歌の聲に

雨の降る日だ日の暮れがたは
戀しきたれかゞ思はれる

噫この思察したまへや慕はしの君

●朝寝●　砥讃

オイ君早やく起きんとモー十分しかないぞと呼んだ男は出て行つた呼ばれた男は床の内でウウンと返事はしたがマダ起きぬ懸て入時は鳴つた、呼ばれた男はまだ寝て居るかれこれ四十分も經つてから漸う起きて慌てゝ驅けて行つたが會社ではモウ欠勤者の内に入れてある仕方がないから其の日はトオく〳〵休んだ其の次の日も遅刻した斯云ふ風で一ケ月を過した、チヨウド勘定日の日に何にやら書いた手紙を會計さんが呉れた歸つて披らゐて見ると、失敗た……『自今解傭す』と書いてある、アアと云つた時は遅かつた、明日からは天下の浪人である何アに彼處計りの會社じやないと、威張つては居るが斯うであるから何所に行つても備つて呉れない聞けば此の朝寝先生此の頭は朝市でセツセと稼いで居るとの事である

寄書

●自撰十句●　想堂

蛇切つて日暮れに歸る雲の峯
舟中に人裸なり雲の峯
火の見臺に半鐘たゝく雲の峯
淺間山煙に火見ゆて雲の峯
大寺の五重の塔や雲の峯
夕晴れて湯屋の煙や雲の峯
白岳の上に崩るゝ雲の峯
谷間に温泉の沸き立や雲の峯
河端の風車止まりぬ雲の峯
竹藪に雀隱れて雲の峰



佐倉宗吾

（九十）　眞龍齋貞水講演

此時宗吾は　宗「エー殘念だ、口惜しい……コレ甚兵衛ツ、汝に於いては三年前、死ぬる生命を助けて遣はしたではないか、其恩を忘れたか、これ甚兵衛ツ　甚「何を吐かしやがる、俺アお前に助けてくれと云つたんぢやねえ、手前が勝手で助けたんだ、其様な事は私の事だ、手前が江戸へ出て御門訴だ、御駕籠訴だと云つて口振つて、騒ぎやがるから、皆な百姓が難義をするんだ、其様な異見を吐やがるから、此佐倉の御役人が、何意姑地に成つて、運上の取立が喧ましく成つた、斯りや皆な手前が種子を蒔いたサア、覺悟をしやがれ——何を吐かしやがる、三年前に助けてくれたつて、俺が助けてくれと頼んだ譯ぢやねえや　喜「然うだく〳〵、構う事アねえから、腰ッ骨の處をウンとぶんなぐれツ　甚「合點だツ、醜態ア見やがれ」と、板子を揮冠り、ホカーリツ、宗吾の腰つ骨をぶんなぐるかと思ひきや、上に馬乗りに成つてゐる、印旛の喜右衛門の素頭をガアーン、何かは耐らう、喜右衛門はウーンと仰向けにうつくり反へる、跳返したる宗吾は　宗「ム、ムー、是は——」つて云ふとバタく〳〵、夢中だから逃出す殴られて兩眼くらんだ喜右衛門は、後ろへ打仆れると　喜「人殺しイー——汝甚兵衛ツ」と突如眼は眩んでゐるが逃しては成らぬと思ふから、宗吾を追駈けるやつを、宗吾は上になり下になり逃げたい、其内に甚兵衛、宗吾が取落したる、木内家々重代の彦四郎貞光の脇差を拔き、印旛の喜右衛門の脇腹を目蒐けてプツリと突き　甚「こん畜生ツ」グイツと一つ剜つたが、直ぐに飛出して　甚「旦那殿待たつしやい——サア、斯りやれ前様の腰の刀だから御持ちなさい　宗「甚兵衛、其身の御蔭で助かつた　甚「マアそんな事ア宜うございます、サア早く船に乗らつしやい、突如宗吾を船へ乗せると、スウーツく〳〵と三本ばかり掉すと、向うの岸へ船を着けた　甚「サア旦那殿、早く當所を遁れさつしやい　宗「イヤ甚兵衛お前は私を既に殺すかと思つたが……　甚「ナニ旦那殿、然うも済まねえ事だが、あゝ云はなけりや、喜右衛門の野郎が油斷をしねえに違へがねえ、野郎に年齢を老つて身體は利かねえから、蹴飛ばされでもしやうものなら、却て不都合だ、其故十分野郎に彼様云つて、私が油斷をさして、頭を力に任かして打殴つてやりましたから、今この脇差で、脇腹を剜つて來ましたから、大丈夫でございます、旦那様、どうぞ是から、江戸表へ御急ぎなすつて、將軍様へ御直訴を御願ひ申します　宗「オウ甚兵衛、返すく〳〵も其身の親切忝けない　甚「併し御手間が取れて、是れは心配をしましたが、御新造様や御坊ちやま、又は御老母様に御別れなさつた、貴下様の御胸の中、私ア御察し申します　宗「オウ、宜う云ふてくれた、好い按排に、老母も女房も、覺悟してくれました　甚「然うでございますか、私は餘り御戻りが遅いから如何かと心配して、水神の森から出掛けますと、彼の印旛の喜右衛門が、彼様いふ事でございました　宗「コレ甚兵衛や、お前は封印の附いた丸太を切り、又今の喜右衛門を殺して見れば……　甚「そりや旦那様、私は覺悟して居ります、三年前殿下のため、死ぬる生命を助けて頂いて、もう是れ三年生き延びて居りますから、御先きへ三途の川へ往つて三途の川の渡守と成り、旦那様が御來になるのを、御待受け申します、其時は又、冥途の三途の川も、私の船に乗せて御渡し申します、旦那殿、私は先きへ往つて御待ち申します　宗「甚兵衛、それぢや死ぬる覺悟か　甚「勿論の事でございます、旦那様、御先きへ御免ツ」ボーン、アッと云ふ内に甚兵衛は水烟りを立つて水底に沈む容子、宗「オウ甚兵衛ツ、甚兵衛ツ、アゝ宜う死んでくれました、南無阿彌陀佛、く〳〵、後ち此處は、甚兵衛の渡と申しまして、六地藏が立つて、甚兵衛地藏と唱へ、皆な此處を通る時には噂をしましたが、水害のため、此甚兵衛の渡と云ふのは、現今は亡失なりましてございますが、是が名代の渡に成つて居ります、



京城彙報

木戸孝允を懐ふ

西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允は維新の三傑として國人の深く崇拜する所也、就中木戸孝允は新日本の建設者として文明主義の宣傳者として日本國民の崇拜に價す、西郷の人格は頗る崇高にして大なりと雖も一個の武弁に過ぎず、大久保は剛膽果斷の政治家なりと雖も立憲的思想の淡なる傾きあり、木戸孝允に至りては眞に文明主義、自由主義の政治家なりき、維新后の政治は多くは木戸大久保の兩公によりて支配せられたるの觀あり、大久保は表面に立ちて事を斷行し、木戸は帷幕にありて畫策したり、木戸は所謂女房役たりし也、而して木戸は最も早く立憲政治を唱へたる一人也、彼の眼光は歐米の文明に觸着すると同時に其根底の立憲政治にあることを看破したり。是を以て觀るも彼の頭腦が如何に進歩的なりしかを知るに足らむ。

木戸孝允逝て既に三十三年、彼の靈魂は京都靈山の一角に安らかに眠れり、本月は彼の三十三回忌法要あり、生前彼の恩顧を受けたる伊藤公、井上侯、桂侯等西下して其席に列せんとす、公潔にして品性高かりし彼の墓前に詣でゝ如何の感激か起る、殊に伊藤公の如きは最も彼の知遇を蒙りたるもの也、伊藤公が彼の家に食客たるの時代彼は伊藤の浮逸なるを深く憂いて屢々戒飭せられたりと聞く、伊藤の素行は革らずして古稀に達して尚は嬌態を欲はると雖も、彼の感化は頗る強かりき、伊藤公が終始一貫廉潔公明なるは其性格にも依るべしと雖も、木戸孝允の感化に依る所多しとの世評は最も恰當也、玆に於て余輩は偉人の感化力の大なるを認識せずんばあらず。

余輩が木戸孝允に就て最も畏敬する所は其心事の公明正大なると識見の透徹せる所にあり、彼が如何に公明正大なりしかの一例を擧ぐれば、彼の眼中には閥族なるものなし、身は長藩出身の元勳にありながら常に藩閥の情弊を痛く憂いて之を打破せんとするに苦心したり、立憲政治を提唱したるも一は此情弊を救はんが爲なりき、其識見の透徹せる總ての事物が彼の眼に映ずるや直に根底を看破せり、所謂書を讀で紙背に徹するものなり、而して彼は慈眼愛膓の人なりき、故に往々世を悲觀するの傾向ありしも、能く世に先き立て憂い、世に先じて煩悶せり、之が爲に彼は其健康をも害するに至れり、要するに彼は熱情の人也是れ政治家としては大久保甲東に遜る所以也、彼は政治家にあらずして經世家なりき。

斯る純潔熱情の偉人により援引せられたる後進生、長州出身の元老等は如何、勳爵のみ愈高くして其爲す所之に伴はざるの感なきか、吾邪。

東京電報

▲鍋島氏の轉任

統監府外務部長鍋島桂治郎氏は外務省參事官に轉任する事に決定したり

▲專管居留地決定

交渉中なりし清國專管居留地問題は仁川、釜山、元山の三ヶ所に設置する事に決定し不日形式を定め發表さるべし

▲總裁理事歸任

入京中の東拓總裁宇佐川男は來月二日、同理事井上孝哉氏は本月廿七日東京出發歸任す可し

▲殖民館の設置

來年五月倫敦に開かるゝ日英博覽會の日本部中に殖民館なる一館を置き臺灣、韓國、滿洲の出品を陳列すべし

▲記者の謁見

倫敦タイムスのチロル氏及同北京通信員モリソン氏は來る廿九日參內謁見仰付らる

（以上廿六日發）

外報一束

●勞働者仲介所

廿一日英國商務院長官チャーチル氏は勞働者仲介法案を提出し下院に於て第一讀會を通過せり勞働黨員ハヴエロック、ウイルソン氏は右法案否決の動議を提出し右は其の効果なく單に金錢浪費に止まるべし海員仲介所は絶對的失敗に終りしにあらずやと云へり

●佛國養蠶奬勵

佛國下院は養蠶家に對し本年五月一日より二十年間生絲一キログラムに付き六十錢を給與するの法案を論議中なりと

●智利海軍擴張

智利國海軍將官會議は新艦隊の建造及び先づ大戰闘艦の建造に着手すべき事を提議したる由

●錫督行政改革

清國新總督錫良は東三省施政上各種の改革を斷行すべしとは一般に信ぜらるゝ所なるが先づ官吏の減俸を行ひ審判廳並に日曜休暇廢止せらるべしと專ら官場に於いて噂せらる

●日本公債騰貴

日本公債借換計畫談再起のため四分利附公債に對して有力なる買手筋現はれ爲に同公債は八分の三方騰貴したりと

●債務審査結了

帝室債務の審査は廿六日を以て全部審査を結了し明禮宮外十一件に關する債務の判決文は廿七日官報課に回附したれば一兩日中に發表さるべしと

●三税と其數量

新税の酒、貰、家屋の內全國にて酒の造石總高は約七十萬石にして釀造酒は南韓に多く燒酒は北韓に多き由なるが貰は三百二十萬貫にして平南、慶南及全南地方に多く家屋は二百二十萬戸にして此內家屋税を課せらるゝものは二十二萬戸、戸税を課せらるゝものは百九十萬戸なりといふ

●韓政府借入金

韓國政府は去る明治四十年より向ふ五ヶ年に於て我日本政府より千九百六十八萬圓の借入金を爲す事に決定し今迄の受領額七百二萬圓なるが尚本年度の受領豫定額は三百六十五萬圓なりしも政費膨脹の結果今年は特に百万圓を繰上げ四百六十五万圓を受領する事に兩國政府に於て協定されたりと

●韓太子配偶問題

韓皇太子に我皇族女王の一人を配して日韓皇室間に血族的關係を作らんとは伊藤統監年來の希望なるが公は此希望を統監辭任前に於て實現せしめんとし先日來極力運動に努めたるも樞密院側の有力者は皇室典範第三十九條を楯に犯すべからざる反對を爲すを以て公の苦心も到底奏効するに到らずして止むならんと云ふ

●大屋長官上京

鐵道管理局長官大屋權平氏は二十六日朝急行にて發途上京せり氏が今回の行は特に注目に値するものゝ如し

●驛屯土引繼終了期

驛屯土の實地引繼に就ては過日來東拓派遣員と所轄財務監督局長との間に其手續中なるが載寧及鳳山所在の約千町歩及び東大門外の四百四十町歩は今月中に全部土地の引繼を終り昌原所在の七百町は來月十日迄に引繼を終了すべしと尚引繼手續は政府より直接引渡すを以て別に不動產證明規則の手續を爲さず單に東洋拓殖會社所有地なる標木を立つるに止むべしと

●韓皇后と獻上品

韓國皇后水原行啓につき同地の日韓民は當日停車場前に綠門を設け歡迎の意を表する由なるが尚愛國婦人會員赤十字社支部員其他水原の人民等は土地の產物を獻上し日韓小學校の生徒も製作品を獻上する筈也と

●行啓と準備委員

既報の如く韓國皇后は來る六月一日を以て水原勸業模範場に行啓せらるゝに付塙川京鐵道書記官は之れが準備として昨朝入京宮內府及內部に出頭し種々打合せをなしたり

●貨幣整理の資金

韓國政府が今日迄舊白銅貨の回收及葉錢其他の貨幣整理に投じたる資金は千五百萬圓の巨額に達したる由

●新義州の斯税反對

新税施行に就ては大邱と新義州との同一の立場にあるを以て大邱の新税反對運動と相呼應して新義州に於ても反對運動を開始し新税除外願書を統監府に提出することゝなりたりと

●太田の招魂祭執行

太田駐屯の步兵第四十七聯隊招魂祭は今二七日同地新設小學校內にて擧行の筈なるが恒吉旅團長は大邱より臨席する筈にて高さ一丈八尺の招魂碑除幕式を行はるゝ筈也

●關税免除實施期

成北淸津港を經て間島及琿春地方へ輸出入の貨物に對する關税免除の事は既記せしが同法施行に關する税則及免税貨物取扱手續は目下度支部に於て起草中なる由其實施期は六月廿五日よりなるべしと

●韓國の戸口と富力

韓國最近の戸口及富力の統計は左の如し

	戸數	人口
光武一年	一、三三三、四八六	五、一九六、五七三
同五年	一、四四九、三四四	五、七一三、二四四
同十年	一、三八四、四九三	五、七九三、五七六
隆熙元年	二、三三三、〇七八	九、七八一、六七一
富力總額	二五二五、〇〇〇、〇〇〇圓	

●釜山船舶課派出所

鐵道監理部管理局にては五月廿四日より釜山に船舶課派出所を設け左の事務を取扱ふと

一、關釜連絡線及小蒸汽船の取扱方に關する事

一、釜山發着旅客及貨物集配の取扱に關する事

一、統監府鐵道との連絡貨客取扱に關する事

一、釜山發着大小貨物通關に關する事

●暴雨と流失田畑

過般慶尙北道金山郡に暴雨ありたるが今同郡々守より報告に依る被害高は水田百十九斗落、田二十八斗落にして秋麥一千二百三十斗、小麥三十九斗、木花三百斤、粗二百五十斗、生麻價五十兩、芹價百九十兩は收獲の見込なしと

●開港二十年紀念祭

元山開港三十年紀念祭は去る二十三日擧行せられたるが各種の餘興行はれ群衆の歡聲湧くが如く就中兩新聞社の假裝行列は最も奇拔にして衆目を惹き夜は提燈行列の催しありたり

●林理事の沿岸視察

東洋拓殖會社が漁業の經營を爲さんとして計畫しつゝありとの事は既報の如くなるが同社重役林理事は昨廿六日午前鎭南浦方面の沿岸視察すべく高橋參事を隨へ出張したる由

●道書記官會議開會

地方費法實施準備の爲め來月一日より道書記官會議を開くべき旨は既報の如くなるが同會議は昨年開會されたる地方官會議と性質を異にし全く地方費實施に關する準備會にして昨年以來毎年開會すべき地方長官會議は統監決定入京の上にて開會さるべしと

●密獵船と漁業權

從來西海岸に於ける清國密漁船は一部の日本人が之れを利用し其雇人と稱してカスリを取るものあるに付其筋にては嚴重に取締りの方法を講ずる筈にて例へば漁業權を有する者と雖も斯る事柄に漁業權を濫用する者は免許を取消すこともあるべしといふ

●平壤煉炭と鐵道局

別項記載の如く平壤煉炭の試驗成績は頗る良好なるに依り尚數回の試驗を重ねたる上愈々確實なることを知るに至らば採掘の量を增大し從って其費用も減少するに依り鐵道管理局其他に於て之を使用するに至れば九州炭及撫順炭等は著しき打撃を蒙る可しと

●商船賃金の割引券

朝鮮海水產組合に於ては大阪商船株式會社と特約せし荷客賃金割引券に付き同會社釜山支店より近來水產組合と直接關係無き者にて割引券を持參し運賃の割引を請求する者あるより將來割引券の保管に一層注意され度き旨照會ありたれば水產組合にては以後漁業に直接關係ある者の外は該割引券を交付せざるやう各支部へ注意せりと

●吊慰金の下付認可

昨年九月侍天敎徒銃殺事件に關し韓國政府は弔慰金として各遺族に金一千圓宛を下付することゝなり之れを觀察使に於て保管せしめ遺族の下付方申請に際し內部大臣の認可を受けしむることゝしたるが此程同道淳昌郡なる侍天敎徒柳益玄の遺族は田地を購入する目的にて約四百圓の弔慰金下付方申請に對し內部大臣昨日之れを認可したりと

●三税實施諭告と暴徒

江原道揚口郡地方委員李奎明は水入面々長病氣につき其代理として三税に對する心得方諭告の爲め水入面長宅に投宿中去る十五日午後九時頃韓人六七名は銃劍を携帶して同宅に侵入し納税義務の訓示を爲すものは韓民を苦境に陥らしむるものなれば一般人民に代りて銃殺すべしと脅迫し且つ李を捕縛して室外に拉去し該里河邊に於て火繩銃を以て胸部及脛部に各一ヶ所の貫通銃創を負はせ剩さへ同人の所持せる金品を強奪して逃走したる由なるが地方人民は彼等は口を義兵に藉り金品を掠奪する暴徒なりと云ひ居れりと

●觀光團と費用支途

去る二十三日奬忠壇に於ける觀光團主催に係る園遊會の席上來る三十一日來京すべき日本觀光團の歡迎方法に就き種々協議する處ありたるが結局歡迎費は民會に於て負擔し之れを人民より徵收すべきや或は他より借入るべきやの一を擇ぶことに決定し之れが撰定は委員に附托することゝなり柳瑾、鄭雲復、李人植、韓錫振、閔泳韶、閔炯植、洪鎬錫、韓宣東、洪忠鉉、鄭永斗の十氏を委員に擧げたるが翌二十四日前記の委員は漢城府民會に集會し種々熟議の結果現今人民より徵收するは不可なるを以て一時韓國政府より金三千圓を借入るゝことゝなしたる由

●仁川第七次民會

仁川第七次民會は既報の如く一昨廿五日午後八時より同所樓上に於て開かれたり出席議員十五名一同着席の上田中議長辭任に就き議長の改選をなせしが結局與田氏多數を以て當選したるも同氏は當日缺席せし故伊藤假議長を選出し會計檢查委員の改選をなしたる所會議規則第四十條の解釋に就き議論紛出甲論乙駁二時間余の論戰ありたるが結局議長指命に決し暫時休憩の後這度は高田民長一時金特別贈與の件に就き議したるが滿場一致を以て原案通り八千圓を贈呈することに可決し夫れより歲入追加豫算、民團起債の件、不動產管理規則制定の件、基本財產管理規則制定の件、滯納者起訴の件、民團税減額の件等總て異議なく可決し伊藤假議長は會計檢查委員に稻田、青木、加藤の三氏を推薦して十二時四十分散會したり

●普通學校の敎監數

公立普通學校邦人敎監は從來京城及各地方共六十二名なりしが今回新に三十四名を採用したるを以て總計九十六人となりたりと

●國有地と小作人

度支部の所管に屬する國有地の面積は十萬町歩余にして其小作人は三十五萬人に亘るを以て一家族四人とすれば家主を併せて百七十五萬人となるが兎も角是等の者は非常に憐むべき者而已なれば其筋にては組合規則を設け彼等の利益を保護し奬勵するの計畫なりといふ

●平壤煉炭成績

農商工部にては平壤鑛業所にて採掘したる石炭を煉炭と爲し之れを鐵道管理局に託して試驗したるが其の方法は(一)平壤炭のみを以て煉りたるもの(二)平壤炭九十五、高島炭五を混じたるもの(三)平壤炭九十、高島炭十を混したるものの成績を見るに九州炭は百哩に付六百二十四斤を要し平壤煉炭は六百四十五斤を要したりとの事にて其差二十一斤なれども試驗回數少なき爲めに十分の判斷を下し難きも試驗回數を積むに於ては今回の成績よりも良好の結果を得る見込ある由にて煉炭塊の大さは拳大のものにて其成績は三種の內にて第三の平壤炭九十と高島炭十を煉りたるもの最も好成績也と

●排日新聞發賣禁止

桑港在留韓人の發行せる新韓民報第百三十號及在布哇新韓國報第十、第十一號は治安を妨害するものと認められ新聞紙法第三十四條に依り二十六日付を以て其發賣頒布を禁止されたり

●兼二浦昨今の狀況

兼二浦の邦人戸數は約二百にして人口は約七百なるが內三百は鐵道工夫なりと又家屋は二三の瓦葺を除き他は何れもトタン葺のバラック造にして市況は不景氣なる由

●郡守の農事奬勵

慶南道祭陽德郡守は就職以來專ら農事を奬勵し居れる由なるが今回講習所の如き機關を設けずして實地に就き農事を指導するため敎師の選定方を勸業模範場長に依頼し來りたる由なり

●釜山運輸支部多忙

臨時派遣隊の渡韓輸送につき釜山陸軍運輸支部にては昨今大多忙を極めつゝありと云ふ

●敎會の振興運動

メソヂスト敎會の振興運動は日本各所に於て執行され居れるが當地にても二十五二十六日の兩夜旭町二丁目名古屋城內なる同敎會に於て說敎會を開きたるが之が爲め特に來鮮したる福島部長古坂啓之介氏出演したりといふ

●明大の臨時校友會

在京明治大學出身者は今回司法官會議に列席の爲め入京したる判檢事にして同大學出身者又は同大學に關係あるものを本日午后五時明月舘に招き臨時校友會を開會し數番の余興を催うす由

●財務署主事の任命

各地財務署に配置すべき邦人財務署主事佐藤辨之助外十五名任命されたり

公人私人

▲澁谷太吉（湖南銀行太田支配人）在京中の處二十五日歸任

▲佐藤總久治（韓一銀行光州支配人）同日歸任

▲村幸八（德島縣水產組合長）入京中の所廿五日馬山浦へ

▲山岐玄次郎（同縣水產組合評議員）同上

▲古橋久三（麥酒會社員）天眞樓へ投宿中の所同日釜山を經て東京へ

▲森田稱太郎（釜山商業會議所書記長）廿五日入京浦尾へ

近事片々

▲大隈伯は頻に伊公の辭任を惜む其言所理なきに非ず要は唯後任者選拔如何にあり

▲隈伯曾禰子を評して統監に不適任也と理由の要點は外交を解せずと言に外ならず

▲外交官中には統監たるに適する人物なきに非ずと隈伯云ふ然り其人に乏しからず

▲統監たる者は威望あると共に列國の形勢に通ぜざる可らずとは伊公の言亦理あり

▲實際の實力あらば可也統監と云ふ官職は其人に威望を添へんと隈伯語る亦理あり

▲伊公辭任の上は統監政治には更に無關係也との東電は信ずる能はず恐らく想像說

▲自已の施設したる統監政治に對して全然無關係たるが如きは伊公の性質許さず

▲何れにしても統監後任選拔は頗る難事たるものゝ如し曾禰子の昇任は畢竟其結果

▲山縣公も桂侯も曾禰子を以て全然適任也と思はず伊公は勿論なるも蓋し不得止也

▲報知新聞に連日掲載せらるゝ失敗せる韓國統治の記事は眞を穿て甚だ面白く讀まる

▲依是觀之韓國に於ける日人官吏の如何に墮落せるやは一目瞭然翼に痛快を極む矣

▲閔泳綺李址鎔等發起して製紙會社を興さんとす着眼甚だ好し奮勵一番成効を期せ

▲觀光團元老閔泳韶日本に於て製紙事業を見て大に感じ歸來之を遊說したる爲也と

▲果して然らば觀光團も强ち何の益なしと云ふ可らず韓人啓發は產業的なるを要す

▲唯々其利益と害との差引如何にある耳

▲三税問題は頭者地方に於て大分問題となり韓人等寄りく不平の聲を擧ぐと云ふ

▲煙草酒の課税は地方農民に取りては最も苦痛ならむ當局者能く地方の實況を探れ

▲地方行政は今尚は混沌として更に要領を得ず地方行政改善に就て當局意を用ひよ

▲書記官會議近きにあり眞面目に評議して實際に刷新の方法を講ずるこそ急務なれ

▲支那人漢江に心中ありとは珍らしき意氣筋と聞けば何と讀らむ貸借の爭とは艶消

▲借金の言譯に一人のチャンコロ漢江に飛込み債權者のチャン追掛て水に溺る也と

●度支部の法規類纂　度支部にて編纂したる現行法規類纂は本年四月一日の現在に係るものにて從前より其体裁を改め目錄全部の改正と加除を爲したる內容價八十錢にて何人にも頒つべしといふ

●仁川港の出入船舶　仁川港へ昨日の入港船は吉林丸、信濃川丸、隅田川丸出港船は信濃川丸、吉林丸、厦門丸、隅田川丸の四隻にして其の上陸者は男六十五名女十九名乘船者は男五十五名女十六名

●水口事務官送別宴　度支部事務官水口隆三氏は今回大邱財務監督局事務官に轉任したるを以て度支部吏員は明二十八日午後六時より京城ホテルに送別會を催す由尙同氏は二十九日出發赴任の筈なりと云ふ

●閔輔國の招宴　輔國閔泳徽氏は二十四日午後六時より自邸に李總理以下各大臣、韓內閣書記官長、侍從院卿、趙承事府總管、承候官閔泳韶其他大官十三名を招待し宴を張れる由

●西北學會の擴張　西北學會にては會務を擴張する目的にて續々に會員募集員を咸鏡南北道に派し盛んに會員を募集しつゝありしが此程李は豫定の目的を達し歸京せり

●コ氏令弟の橫濱行　コールブラン氏令弟は二十六日韓國....人は英國總領事其他....

●京城の一と朝　ぼく

花柳巷は不景氣な丈け夜更くれば、明けやすき此の頃の夜も未だ明けぬ樓、闃寂として各樓共に門扉閉ぢたり、阿郎が頸捲く腕に空しく巳れが膝抱いて、成り難き夢結びたる、阿孃が魂、今夫れ何處の邊にか彷彿へる、覺束なし。

松葉樓門前夏みかんの皮堆かきを見る、井戸を左に右に折れる、唯見る、廿八九の仲居風の女の、綿大島の綿入羽織に、赤縞美チルの羅衣を着たるが、兩手を額に正面に映す、旭の光りを眩しと避けて佇みたり

迂散臭しと見る目の前の、**第一樓支店**の玄關口を勢ひ込んで飛び出したる、麥稈帽にフロックコート、霜降り羅紗のヅボンの釦一つ外れた間から白シャツの端を見せてタブル襟の最高きに今紫色の襟飾掛けたる、**廿五七**の色淺黑き口髭つけたる**男**あり、他人や在ると見回したる宿醉未だ醒め了らぬトロンコ眼に、氣の毒な、我等の姿に當惑の胸を抱いて五七秒立ち竦みたるが思案や決めし我等と逆に背後の方へ逃し去りぬ、之れを送つて出でたる遊君は**大和**と呼ばるゝ御方樣也、昨宵の**口說**の續きし爲か、**朝の別れ**が**辛**かりしか、**目蓋**の緣が**赤**う腫れたり。

玄關口に仲居と彼女は、花賣りヨボの花を撰めり。

旭は既に高う昇りぬ、徐々暑う成り行く、急げ〳〵と裏道傳ひ、壽町商業會議所の手前に**西山組**と云ふ家あり、不圖見上ぐれば二階の東の端の窓の內に廿三四の**御內儀**が、楊枝使ふて居らせらる、鬢のほつれの二三本、顏に掛るが五月蠅相なり。

巷路を拔けて南山町一丁目森勝次氏の邸前にて三十二三の世話**女房**何にやら**浮**かぬ**顏**をして二人の擔軍に荷を負はせ急いで來るのに磕と逢ふ、移轉なれば結構なれど、詰らぬ事喧嘩から、出て行け、オゝサ出て行かなくてと、張らでも濟むべき意地づくから、遂ん出て行くのぢや無いかと思へば他人の僕も氣掛りな。

旭町に出づ、不知火旅館の玄關に隣れる臺所の戶を開け放ちて騷くしけする女を見る、南大門通りより本町通りに入る。

十九か二十歲か容貌、醜からざる**新妻**の、小さく疊みし風呂敷持つて、四十五六の叔母さんらしき、女と連れ立ち來るがあり、頭に戴せた丸髷を見らるゝさへも**恥**かし相に**嬉**し相に、俯目勝の**初々**しさ、嫁入當時の**此の心**、唯何日までも何日までも、忘れぬ樣になさるべし、然らば家內は安穩にして、稼業繁昌疑ひなし此の婦人の**御亭主**たるもの、心して**心配**させて**下**さるな、家に歸る六時四十分なり（了）

◎**農銀支配人拘留さる**　▲行金費消の嫌疑あり

慶尙北道尙州農工銀行支配人武田愛治（三七）と云へるは數日前大邱理事廳へ拘引せられたるが其眞相を聞くに去月廿三日より三十日迄の間に於て行金壹千圓盜難に罹りたるを以て同地警察署にて搜查中嫌疑は遂に武田に罹りて斯くは拘引となりたるなり武田は香川縣生れにて同地の某銀行に勤務中同行の重役武田某の娘と情を通じ遂に入婿となり養父死亡後遺產を相續して天晴れ數萬圓の資產家の主人公となり濟ませしが何時しか放蕩を初め資產の幾部を費消せしかば親族への申譯にと金三千圓を懷にして渡韓し周旋する人あり目下の地位を得しが飽迄放蕩根性の武田は鄕里に貞操なる妻子のあるにも拘はらず韓妻を貯へ放蕩にのみ耽り居たりと云へば何れ負債の埋め合せの爲め費消したるものならんと傳ふ

◎**女房を酌婦に賣飛す**　▲其上宿料も踏み倒す

當地古市町十二番戶居住無職田中善一（三三）と云ふは窃盜賭博等前科四犯を有する曲者なるが本年三月五日より十三日迄旭町下宿屋須上ミナ方に止宿したるも宿泊料の支拂出來ざるにぞ其妻ヒサに因果を含め龍山の某家に酌婦に賣り飛ばし其金を以て宿泊料十二圓を支拂ふと約しながら之を履行せず其儘逃亡して釜山に至り同月廿六日釜山西町久田方に下宿中同宿人顧木佐五郎外一名の縮緬兵兒帶二筋（代二十四圓）を窃取し一筋は龜浦の某に三圓八十錢にて賣却し他の一筋は當時大邱に興行中の浪花節語り坂井某に六圓にて賣飛ばし其後當地に逆戾り諸々徘徊中昨日南部署の手に取押へらる

◎**又しても車夫の亂暴**　▲車夫連の跋扈甚だし

近來車夫の跋扈甚だしく警察當局も故中殆ど每日の如く彼等に關する出來事あるは苦々しき限りなり一昨夜午後九時頃明治町二丁目玉乘り興行場前に一人の醉漢通行中の韓人に向つて盛んに罵聲を放ち居るを訴ふる者ありて巡査出張し取鎭めんとせしに却つて巡査に喰つて掛り暴行を爲すにぞ遂に南部署に引致し科料二圓に處せられしが此奴は旭町九十二番戶居住大野實太郞（四〇）とて伊藤組の車夫

紳士の遊興振

◎**石塚英藏君**

統監府參與官の首席、總務長官の代理として時めき玉ふ君が遊興振はどうであるかと云ふに、元來君は嚴格なる性で內地に居た頃は藝妓遊などは更に爲なかつた、然るに君が臺灣參事官長として赴任後は例の後藤が民政長官で、有餘る交際費を悉く花柳の巷に投ずるものから君も當時後藤と競爭の姿で勢ひ茶屋酒を知らざる譯には行かず、何んとなれば茶屋酒と云ふ事は巳一人で飮むものに非ざると同時に後藤と對抗すべく乾分を統一する必要を氣附いたからである、併し臺灣は君の晴の場所に非ず總じて關東州の民政長となつた、聞く君の妻君は大山捨松夫人の姪子とかで彼の不如歸の浪さんとは從姉の間柄だそうだ、されば遺傳性と云ふ譯でもあるまいが御夫婦の愛情は頗る濃厚である、殊に君は會津生れの武骨者とて花柳の巷へ出入する抔は本意に非ず、されば大連では一時全く中止の姿であつたが如何なる惡緣にや鐵爵は間も無く滿鐵總裁に轉じて君の任地に追駈け來り、茲に又もや競爭起り一時大連の花柳界を賑はしたがこゝも君の晴の場所に非ず遂に內地へ引揚げ廻り〳〵て今度は京城に來られた、併しこゝには鐵爵の樣な對手も居らざれば著しく茶屋場入の必要はなき筈なるに京城の空氣に感染したりと見へ時に樓上の客となる、今其樣子を見るに是又宛然會津出身の旦那樣で餘り酒も呑まず、と云ふて都々逸一唸るでなし端唄の一つ囀づるにも非ず只席に侍る藝妓に向つて巫山戲るかと云ふにそんな事もない樣子、然らば何が面白くて樓上の客となるかと云ふと、曰く他ならず以前の總務長官鶴原君は人も知る如き粹士なれば君は其後繼者として士の面目を維持する爲めの茶屋場入に外ならずだとのこと、石塚さんも隨分堅いれ方でれまなさとは屢々席に侍りし某妓の言分である、併し君が時々夜十二時を過ぐる頃帽子眼深に冠つて何處へか遠征せらるゝ後姿を認めし人もあるとか、して見ると君も中々隅へは置けぬ哩

……明日は岡正矣君……

◎**酌婦の雲隱れ**　西小門通り三番戶日之出亭事增本龜之助方雇の酌婦大坂生れの山本うめ（一八）は去る二十二日無斷家出して行衞を晦ましたるを以て日の出方にては血眼になつて搜索中壽町江島善太郎と云ふ馴染男の側に潜り込み居たるを昨日發見して連れ歸らんとせしにうめは頭を左右に振りイヤダ〳〵ださダヤくるにぞ止むなく南部署へ歸宅方の說諭を願ひ出でたり

●**僞巡査の拘留**　昨紙記載せし早瀨組の車夫宮本宇兵衞（三十）が大和町松の屋及び青雲亭に至り巡査の聲色を使つて室內を臨檢し且つ出張せる警官に向つて亂暴を爲したる行爲に關し取調中の處昨日南部署にて拘留十日に處せられたり

●**虫の好いヨボ**　仁川宮町一丁目明治屋に陳列しありたるパナマ帽子が風の爲め吹き飛ばされたるを通行中の炭商韓人除申告（三十）と云ふが拾ひ取り跡をも見ず一目散に逃げんとせるを同店の雇人が發見し直ぐ引き捕へて警察署に突き出す

●**落し物と拾ひ物**　仁川敷島遊廓日進樓の仲居今倉やすと云ふは一昨日午前十時頃花町三丁目奧田米店へ行く途中二十餘圓入りの財布を遺失し青くなつて交番へ屆け出づ▲咸鏡北道警察部巡查太田貴尾重は廿六日午前八時頃當地淸國領事館通に於て金二圓廿七錢と外に山田と印せる認印在中の財布壹個を又大和町一丁目藤井實一方寄留吉川甚內は廿四日午後四時半本町六丁目大和商會附近に於て二圓二十二錢入の革製財布一個を拾得し何れも南部署に屆出づ

●**入院と休業女郎**　新町遊廓で去る廿五日檢梅の結果入院したるは皆春樓の式部、清月の若松、南山樓の南榮、小稲、山遊樓の千代松の五妓休業して自宅に療養することゝなりしは第一樓の園枝、大桝屋の千代鶴、小蝶、高島屋の忍、山遊の房子、愛吉の六妓なりと

●**空家の二人も拘留**　昨紙空家に二人の曲者と題して記載せし吉田梅吉（十七）及び磯島幸市（三九）は何れも昨日拘留十日を言渡されたるが磯島幸市とは世を忍ぶ假りの名誠は石川縣平民小馬亮三と云へるものなりと

●…●…●**本社に關係なし**●…●…●　石川某なる人日韓官民職員錄なるものを發行するとかの由なるが右は本社の紳士錄と何等か關聯せるものゝ樣誤解せられ問合せらるゝ向も尠なからざれども何等本社に關係なきに付茲に之れを特記す

演藝界

▲**壽座**　今夜の替りは『爲朝重太郎』全六幕にして役割左の如し

署長內山俊才（松村）重太郎子分小櫻三次吉井政五郎子分源次（大山）藝者小藤（藤原）爲朝重太郎、篠田政五郎（阿部）松月主人普兵衞（高山）政五郎子分仐寅（中村）重太郎妻大吉（堀江）重太郎弟順造（田宮）

平民文庫



捏造中傷無用のこと
小便も亦御斷り申候

▲記者足下　平民文庫の一部を利用して文藝欄を設け小品文、一口噺、謎々讀者より募集なされる樣に願申上候（自稱文學者）▲平民文庫の一部ちやない相當欄を設けても宜しい御遠慮なく御投稿下さい、併し長文のは困るから五行或は七行位ひで數を多く（係）▲明治町の敷島は料理が安くて酌婦が美人だ皆さん一度は出掛けなさいよ（酒顚童子）▲魚遊痴史君の三面情歌は毎度ながら面白い殊に先日の熱三魔詩の如きは滑稽的にして諷刺あり諧謔にして警句あり其巧妙なるには感心せり僕は頗る趣味を以て君の情歌を愛讀する者なり請ふ續載せられんことを（歌好道士）▲北米倉町八さんが魚遊君と一日の淸談を希望する旨申込まれた魚遊君に通知す（むら）▲編輯局の小僧君其の後餘り振はない樣だね如何なる次第なるや判つたり此の頃の氣候では御尤も（アライツソ）▲イヤ見當が違ひますよ（小僧）▲京城で曰く何新聞、曰く何雜誌と夫々趣味のある讀み物も尠くないが特に貴紙の平民文庫や文苑やは中々其の趣味が深刻で又た書きツ振りが誠に親切であるから一度讀んでも跡に何んとなく餘韻が殘つて何んだか懷かしい樣な氣持ちがする……と云つても是れは吾輩が貴社に阿諛かるのではない或る所でツンな話があツたから諸君に傳へる（澤市庵）▲薄くね御惡戯だ正直者計り揃つて居ますから手柔らかにれ願ひしまず（係）▲京城で馬鹿難しい音を聞くはイツの頃であらう（音樂狂）▲アレあの音が諸君ませんか統監政治がアノ通りに雌したでも居るではありませんか（小僧）

●韓語獨習

日語	韓語
今野菜は何かあるか	シバン、ヤチヤイナンムオシ、インヌニヤ
白菜と、芹があります	ペーチウーワ、ミナリーカー、イッスムニタ
西瓜、れ食りになりますか	シユーバク、チヤプスーシリヤオ
眞瓜は水が多く味も甘いでか	チヤムモイヌン、ムーリー、マンコ、マツトーオ
唐辛は、如何でした	コツチユヌン、オツタツソ

◎**天氣豫報**（自廿六日午後六時至廿七日午後六時）

西の風晴後曇

廿五日　最高溫度　七〇、五
　　　　最低溫度　五六、七（華氏）

種々洗濯石鹼製造販賣　朝日石鹼製造所

（電話九七三番）

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇度　年二十五歳身体强健多年農業に經驗あり農事經營者へ雇はれたし市内に確實保證人あり　姓名在社（二五九）

●被雇度　多年寫眞術に從事尤も技術を善くす給料多きを不望至急被雇たし　氏名在社（二六二）

●下女希望　年十九確實なる身元保證人あり堅氣の家に雇れたし　氏名在社（二六五）

●尋人謝金　伊豫松山附近より來る人あれば依賴致度事あり謝金十圓を呈す　氏名在社（二六四）

里子に遣度　生子一ヶ月乳汁多くある方に預けたし委細面談　氏名在社（）

●行商募集　男女を問はず古着行商希望の人を求む　旭町一の六　京仁商會

●告西君　旭町三の三四日語氏に承合せられたし（係）

●求職　普通敎育有り職業を撰ばず至急雇れたし　氏名在社（二六九）

●募集　義雄見習生十四歳より十八歳迄一名入用希望者は來談あれ　大和町二の一六八　技藝女塾

●給仕入用　年齡十四五歳の者　本町一丁目　小川勝平事務所（二六八）

物件部

ヴアイオリン講習樂器を備へ懇切に敎授す每週月水金午前十時より　永樂町三番樂講習會（二五六）

中古英國製コースター付自轉車至急讓受けたし　姓名在社（二五七）

●賣貸家　大和町元軍司令部通庭內三百坪西洋二階建廿七坪平家廿四坪電燈電話附會社病院向格安賣又貸度し　氏名在社（二六三）

●氷店賣却　氷店道具一切附屬品共賣却したし御望の方は電話千百八十三番へ

●求借家　韓人家屋にて人通り繁き橫丁にて温突五六間の二階建及平家にても至急借受たし場所太平町北米倉町附近を望む　社內柏木（二七二）

●求地所　大和町附近高燥にして眺望好き二三百坪の地所を格安にて讓受けたし　氏名在社（二七〇）

廣告

夏物大賣出し

廿八日より六月廿日迄大割引販賣仕候間續々御購求あらん事を

衣服類、洋物雜貨、文具、履物類其他何でもあります

龍山元町三丁目銀行西隣

寺岡商店

京城曙町（電話二八七番）

統監府御用　宮內府御用

軸物表裝　金屛風　額面　禮式　壁張　天井張

石川表具店

米　東京火災運送海上保險株式會社

明治廿年七月創立　資本金一千萬圓

京城代辨店　本町四　山口吳服店　電話九

事務所　京城本町二の三　電話一〇六〇番

丸一ノゆかたデー

浴衣地の新柄を御眼に懸たく其爲に來る廿七日の大海戰紀念日を潛越ながら丸一の浴衣日に充て近隣なる旭旅館の一部に陳列し御望とあらば即賣を致升ます其陳列は遠路の方の爲に翌廿八日も其儘に致置ます尚ほ此の機會を利用し敬意を表すため右廿七日を中心としての前後五日間（二十五日より三十日まで）總ての價格を賣出例約一割引に相働き申ます皆さん〳〵夕方デーなど〻仰せられず何卒朝から出にドシ〳〵と

㊀和洋太物　丸一

（京城本町三）（電話六三五）

諸官衙御用品調達

營業科目

和洋紙類　印刷附屬品　印刷インキ　和洋書籍　防腐テシン　穀物食鹽　諸染料類

各學校御用品調達

委託販賣

東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスフアルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺灣鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社　京城明治町二丁目　電話二三〇番

出張所　東京京橋區南鍋町一丁目十番地　電話新橋三九六二

㋐の夏物賣出し

五月二十五日より同三十一日まで

一割引

太物洋反　カヤ蒲團

おてんとみの本町郵便局前

㋐秋山商店

電話九百五番

辯護士　岡田榮

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セズ）

京城旭町一丁目六十七番戶（電話三九八番）

漢城製藥所長藥劑師　渡邊悦之輔

金水舍製ラムネ

一衞生無害ラムネ、ミカン水

昨年の通り純良なるラムネ、ミカン水製造販賣仕候間陸續御愛飲を乞ふ

京城大和町二丁目

陸軍衞戍病院　大韓醫院　特定御用

消毒　純良　牛乳

荒井牧場

電話一〇五六番

九州セメント

上等生石灰販賣

京城南山町一丁目電話三四四番　山村商店

龍山元町一丁目電話三四八番　中村運送店

移轉廣告

今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉す

南大門外御成町紅葉館跡（茂呂運送店前）

五月　開通

戶田病院

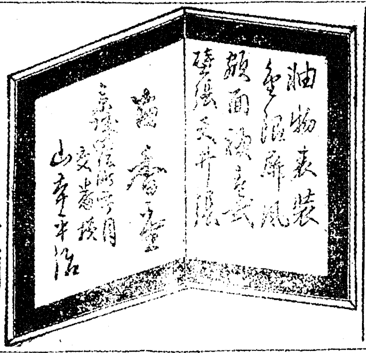
電話九三八番

三一館

焦心單志多年爲斯道難於徵義與旨恍然似有得者頤懸推臆斷敗敗茫洋辭愈涵臆素面輕發也

京城本町五丁目

易斷觀相敎授通信判斷一件一圓特別二圓



工場新築落成に付當分の間三割引

滋養と牛乳　衞生と消毒

馬車配達　純良牛乳

京城東四軒町

岡野牧場

電話壹〇六九番

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣

末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材

京城旭町三丁目

建築業　柴田芝六

電話五六八番

貨物運送取扱　危險擔保附運送　稅關貨物取扱　貨物引換代金付貨物運送　發行

E㊋E

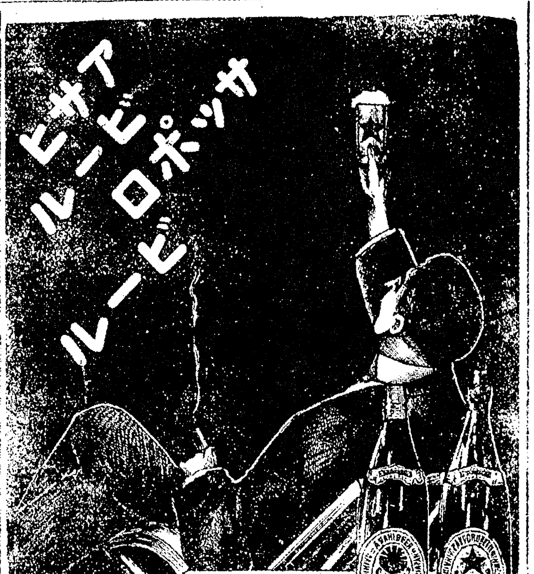
內國通運株式會社

京城　南大門驛前　京城支店　電話七〇八番

仁川驛前　仁川出張所　電話五一一番

草梁驛前　釜山出張所　釜山驛前電話六一六番　草梁驛前電話九三七番

龍山驛構內　龍山派出所　電話二〇六番



特約販賣自賣製

大　㋥　萬

醬油製造元　濃味噌

京城本町五丁目

大上商店

（電話二五一番）

和洋酒、罐詰、穀物麺類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、味噌各種特約販賣

元祖　消毒　殺菌

牛乳

京城大和町壹丁目

岩山牧場

電話一三三

西洋料理

京城壽町二丁目

にしき支店

電話七百二十九番

出前仕候

待合　春日

待合　かしく

電話二三九番

◉氣候變化＝牛乳
◉牛乳＝純良＝消毒

韓國畜産株式會社

南大門外（電話八八番）

▲清潔の下宿▼

客室の清潔ご調理の美味ご御扱の懇切ごを特色こして下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戶橫小路（元花屋跡）

▲懇切の下宿▼

かめ屋

統監府御用

諸官衙人力車

荷物荷造及運搬

伊藤組

營業　京城曙町（電話七三番）

本店　同本町三丁目（電話四〇番）

日本郵船株式會社

瀛船仁川出帆廣告

仁川海岸通

貨物及船客取扱店

郡回漕店

電話三九番

◎釜山長崎門司神戶行　山東丸　六月　六日午後三時出

●大連、太沽、牛莊行　高砂丸　五月二十七日正午時出

◎大連、大沽、牛莊行　山東丸　月　日前五時出

◎大連、大沽、牛莊行　酒田丸　六月　十七日正午　出

◎釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行　立神丸　五月二十六日午後

御注意　御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候從來ノ如ク船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金貳拾錢▲六ヶ月前金壹圓▲郵税一ヶ月金四錢
●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲普通五號活字十九字詰一行金五十錢▲特例

發行兼編輯人　秋山忠三郎
印刷人　高木久馬太
發行所　京城新報社　京城西部西小門通　電話六六三番